

# 週報 みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

## 第 39 回全国海水養殖シンポジウム 開催 (愛媛県宇和島市)

第 39 回全国海水養殖シンポジウムが、全国から魚類養殖業者とその関係者 500 名以上を集め(三重県からは 25 名が参加)、「日本一の魚類養殖業集積地からの発信～持続的養殖をめざして～」をテーマに、2 月 7 日、愛媛県宇和島市で開催された (※昨年度は三重県)。

開会にあたり、(社) 全国海水養魚協会の嶋野勝路会長は、「厳しい情勢が続くが、養殖業界一丸となってこの局面を乗り越えたい。」と挨拶した。



挨拶に立つ嶋野全海水養魚協会会長

基調講演では愛媛県庁営業本部長の加藤龍彦氏が、「愛媛県の営業戦略について」と題して愛媛県産品の販売・PR 戦略などを紹介した。

引き続き行われた分科会では「赤潮と漁場環境」「魚食普及を通じた地域の活

性化」「養殖飼料の現状と研究動向」「トラフグ養殖部会」の 4 つの会場に分かれ、生産者、漁協や行政、大学などと意見交換が行われた。

また、シンポジウムの後引き続き行われた懇親会の冒頭、愛媛県立宇和島水産高校の女子生徒がマグロ解体実演を行い会に花を添えた。

40 回目となる次年度のシンポジウムは静岡県で開催されこととなっている。



宇和島水産高校によるマグロ解体



来年 2 月には静岡県で開催される

## 水産物輸出・HACCP 入門セミナー の開催について

日本貿易振興機構（JETRO）及び大日本水産会の主催による標記セミナーが開催されますので、参加希望の方は漁連指導部までご連絡ください。

1. 主催 日本貿易振興機構（ジェトロ）  
大日本水産会
2. 日時 2月21日（金） 13:30～
3. 場所 プラザ洞津 （津市新町 1-6-28）
4. 内容  
第1部 水産物輸出概況について（ジェトロ）  
第2部 根室のサンマ輸出プロジェクトについて（ジェトロ 北海道貿易情報センター所長 相馬巳貴子氏）  
第3部 水産物輸出に向けた HACCP 講習  
（大日本水産会）
5. 申込締切 2月15日  
（漁連指導部とりまとめ）
6. 定員 50名（※ただし先着順）

## 尾鷲早田寒ブリまつり開催 ～早田地区再生協議会～

尾鷲市の早田地区では今月 22 日、「第 1 回早田寒ブリまつり」が開催される。主催となる早田地区再生協議会は尾鷲漁協早田支所と地域住民を中心とした任意の団体。

当日は、午前 10 時 30 分より、尾鷲市早田コミュニティーセンター周辺で刺身やしゃぶしゃぶの試食コーナー、寒

ブリべっこう寿司、地場産品などの販売を行う予定となっている。

## 漁業体験を学ぶ ～南伊勢町神前浦地区～

南伊勢町・三重外湾漁協の神前浦地区で 4 日、「交流体験研修会」が開催された。同地区では、地元漁業者らによる漁業体験の構築を模索しており、本研修はその関係者らが参加して実施されたもの。

研修では、静岡県で漁業体験事業を実施している西伊豆いきいき漁村活性化協議会の鈴木達志さんを招き、漁村の活性化や安全対策等の実例や課題を学び、参加者らは熱心に聞き入っていた。



実例を挙げながら説明する鈴木達志さん

## 主な行事予定

15日

- ・三重県農林漁業就業就職フェア（津）
- ・漁業就業支援フェア（大阪）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。